

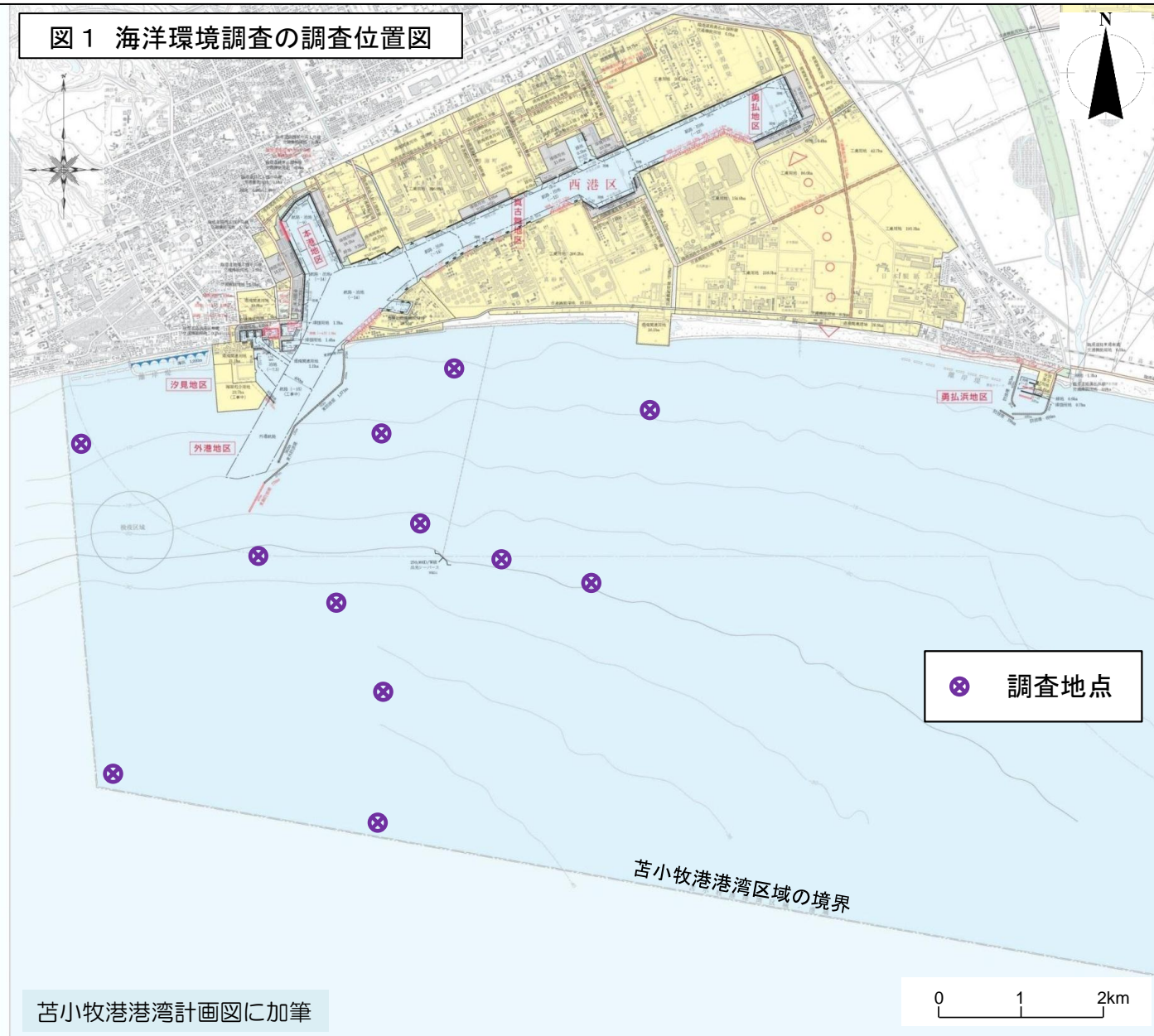
# 苫小牧地点におけるCCS大規模実証事業：海洋環境調査（秋季調査）の実施について （経済産業省委託事業）

## 1. 概要

苫小牧におけるCCS実証事業では、苫小牧港港湾区域内においてCO<sub>2</sub>貯留対象地点直上および周辺海域の現況を把握するための調査を夏季(8月)に続き行います。

今回は秋季調査として、図1に示す12地点の直径100mの範囲で、海水や海洋生物の調査を実施します。海域の現況把握には四季のデータが必要であり、今後も冬(平成26年2月)と春(平成26年5月)の調査を予定しております。

図1 海洋環境調査の調査位置図



苫小牧港港湾計画図に加筆

## 2. 調査方法

- ① 流向・流速計により、海水の流れの方向と速さを調査します。
- ② 採水器で海水を採水し、塩分濃度などを測定するとともに、プランクトンの状況を調査します。
- ③ スミス・マッキンタイヤ型採泥器で海底面表層を採泥し、粒度などを調査します。
- ④ 不攪乱柱状採泥器で海底堆積物を採取し、層序構造などを調査します。
- ⑤ 網で底生生物を採捕し、種類、数などを調査します。
- ⑥ ダイバーやROV(自走式水中カメラ)により底生生物を撮影します。



調査船



プランクトンネット



スミス・マッキンタイヤ型採泥器



不攪乱柱状採泥器



網



ROV

## 3. 秋季調査のスケジュール(予定)

作業項目	平成25(2013)年11月												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	20	
流向・流速、海水、プランクトン調査 ①②													
海底面表層、海底堆積物調査 ③④													
底生生物調査 ⑤⑥													
予備日													

\* 調査の作業時間は、原則として8:00~17:00の間で、夜間作業は行いません。

\* 天候や海況によって、多少調査期間の変更があり得ます。